

# Roland

# KC-550 KC-350

## STEREO MIXING KEYBOARD AMPLIFIER

# 取扱説明書

このたびは、ローランド・キーボード・アンプ KC-550/KC-350 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に

- 安全上のご注意 (P.2 ~ P.3)
- 使用上のご注意 (P.4 ~ P.5)

をよくお読みください。

## 主な特長



- デジタル・キーボードやサウンド・モジュールなど、さまざまなソースに対応した、高音質設計のモニター・アンプです。
- KC-550 は 38cm(15 インチ)、KC-350 は 30cm(12 インチ)スピーカーとホーン・ツイーターによる 2 ウェイ方式。KC-550 は 180W、KC-350 は 120W のハイ・パワー出力です。
- 入力部に 4 チャンネル・ステレオ・ミキサーを搭載。CH 1 は XLR コネクターを装備し、マイク入力にも対応します。
- CH 4 に、出力先を選択できるアウトプット・セレクト・スイッチを装備し、モニタ機能を充実させています。
- 幅広い音作りが可能な 3 バンド・イコライザーを装備。さらに SHAPE スイッチとの組み合わせにより、バリエーション豊かなサウンドが得られます。
- サブウーファー・アウトを装備し、パワード・サブウーファーを接続することにより、さらに迫力ある低音再生ができます。
- CD や MD プレーヤーなどを手軽に接続できる RCA ピン・タイプの AUX IN ジャックを装備。
- 外部ミキサーや録音機器への接続に便利なライン・アウトを装備。
- ステレオ・リンク機能を装備。2 台の KC-550 または KC-350 を 1 本のオーディオケーブル (標準タイプ) で接続することにより、簡単にステレオ再生が可能です。


© 2003 ローランド株式会社


本書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。

# 安全上のご注意

マークについて この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。



	<b>注意</b> 感電の恐れがあります。 キャビネットをあけないでください。	
<p>注意： 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。 この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。 修理は、お買い上げ店またはローランド・サービスに依頼してください。</p>		

 このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。




 このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表わしています。

## 火災・感電・傷害を防止するには

### ⚠ 警告と ⚠ 注意の意味について






 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。  ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

### 図記号の例





	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	●は、強制（必ずすること）を表わしています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----









## 警告

- この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。 
- この機器を分解したり、改造したりしないでください。 
- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。 
- 次のような場所での使用や保存はしないでください。 
  - 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
  - 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所 
  - 雨に濡れる場所
  - ホコリの多い場所
  - 振動の多い場所











## 警告

- この機器を、ぐらつく台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。 
- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。 
- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。 
- この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。 

## 警告

- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。
- 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、お買い上げ店またはローランド・サービスに修理を依頼してください。
  - 電源コードやプラグが破損したとき
  - 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
  - 機器が（雨などで）濡れたとき
  - 機器に異常や故障が生じたとき
- お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。
- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。
- 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。
- 外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。
- 本機の上に水の入った容器（花瓶など）、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、すみやかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

## 注意

- この機器は、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。
  - 電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。
  - 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。
  - 接続したコードやケーブル類は、複雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。
- KC-550**
- この機器を設置するときや車に積むときなど、動くと危険な場合は、すべてのキャスターを外してください。
  - この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。
  - 濡れた手で電源コードのプラグを持って、コンセントに抜き差ししないでください。
  - この機器を移動するときは、電源プラグをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。
  - お手入れをするときには、電源を切って電源プラグをコンセントから外してください。
  - 落雷の恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントから外してください。

# 使用上のご注意

2、3 ページに記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

## 電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。
- 接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。
- 電源スイッチを切った後、本機上のLED が消えますが、これは主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

## 設置について

- この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。また、至近距離から照らす照明器具（ピアノ・ライトなど）や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になりますので、数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。
- 本機の上にゴム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機の上に水の入った容器（花瓶など）、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、すみやかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。
- 本機の上に物を載せたまま使用しないでください。

## お手入れについて

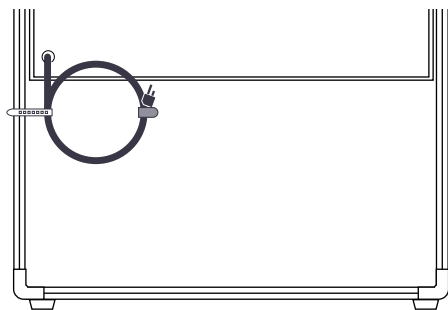
- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。
- カーペット部の通常のお手入れには、毛の硬いブラシをお使いください。

## 修理について

- お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

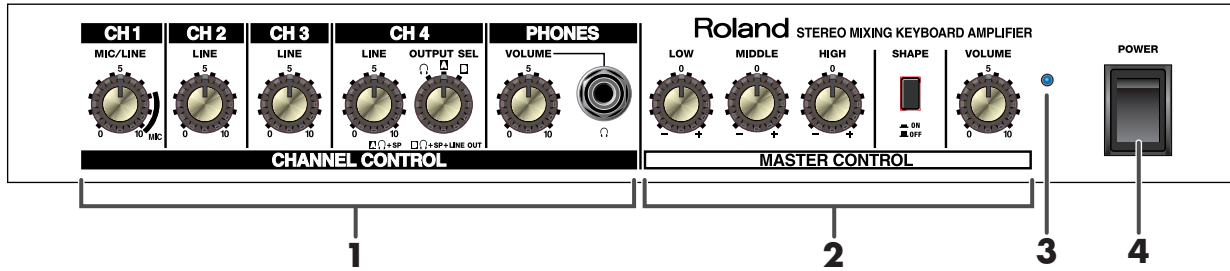
## その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。
- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。
- 輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- 接続には、当社ケーブル（PCS シリーズなど）をご使用ください。他社製の接続ケーブルをご使用になる場合は、次の点にご注意ください。
  - 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。本機との接続には、抵抗入りのケーブルを使用しないでください。音が極端に小さくなったり、全く聞こえなくなる場合があります。ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。
- 運搬／収納時には、AC コードを本体背面のコード・フックで固定してください。



# 各部の名称と働き

## コントロール部



### 1. CHANNEL CONTROL

チャンネル・コントロールは、ステレオ対応の4チャンネル・ミキサーを装備しています。

※ ステレオ・リンクで演奏するときは、「ステレオ・リンクについて」(P.12)をご覧ください。

#### CH 1、CH 2、CH 3

CH 1～CH 3の音量を調節します。

CH 1は、マイク入力に対応しています。

#### CH 4

CH 4の音量を調節します。

CH 4は、出力先を選択できるアウトプット・セレクト・スイッチを装備しています。

##### OUTPUT SEL スイッチ

CH 4に入力した信号の出力先を、ヘッドホン、スピーカー、ラインアウトの組み合わせから選択できるスイッチです。用途に応じて、次のように使い分けてください。

##### A ♪+SP

ヘッドホンと本体スピーカーに出力します。ライン・アウトには信号を出力しません。



ヘッドホンにのみ出力します。本体スピーカーとライン・アウトには出力しません。



##### B ♪+SP +LINE OUT

ヘッドホンと本体スピーカー、およびライン・アウトのすべてに出力します。

※ OUTPUT SEL スイッチは、次のようなときに便利です。



：同期信号やリズム・マシンなど、ヘッドホンだけで聴いて外部に出力しないときに選びます。



：ライブ・ステージなどで、メイン・ミキサーからのモニターとして使用するときを選びます。KC-550/KC-350のCH 4入力とライン・アウト両方をミキサーに接続したときなどに起こる、不要なループ形成の防止に有効です。



：CH 1～CH 3と同等に使用するときを選びます。

### PHONES

#### PHONES VOLUME つまみ

ヘッドホンの音量を調節します。

※ PHONES VOLUME つまみは、ヘッドホン出力にのみ働きます。

#### PHONES ジャック

ヘッドホンを接続します。

※ ヘッドホンを接続しても、スピーカーからの音は消えません。

※ ヘッドホンを接続するときは、必ず PHONES VOLUME つまみを0にしてください。

※ MASTER CONTROL (イコライザー、SHAPE スイッチ、VOLUME つまみ) は、ヘッドホン出力には働きません。

---

## **2. MASTER CONTROL**

### **イコライザー**

3バンドのイコライザーを装備しています。

#### **LOW つまみ**

低音域の音質を調節します。

#### **MIDDLE つまみ**

中音域の音質を調節します。

#### **HIGH つまみ**

高音域の音質を調節します。

- ※ イコライザー（LOW、MIDDLE、HIGHつまみ）は、SUBWOOFER OUT、スピーカー出力にのみ働きます。

### **SHAPE スイッチ**

このスイッチをオンにすると、高音域と低音域が強調されます。小音量時の音質補正や音質のメリハリを出したいときなどに便利です。

- ※ SHAPE スイッチは、スピーカー出力にのみ働きます。

### **VOLUME つまみ**

本体スピーカーから出力される全体の音量を調節します。同時に、SUBWOOFER OUT 出力も変化します。

- ※ VOLUME つまみは、ライン・アウトには働きません。

## **3. POWER インジケーター**

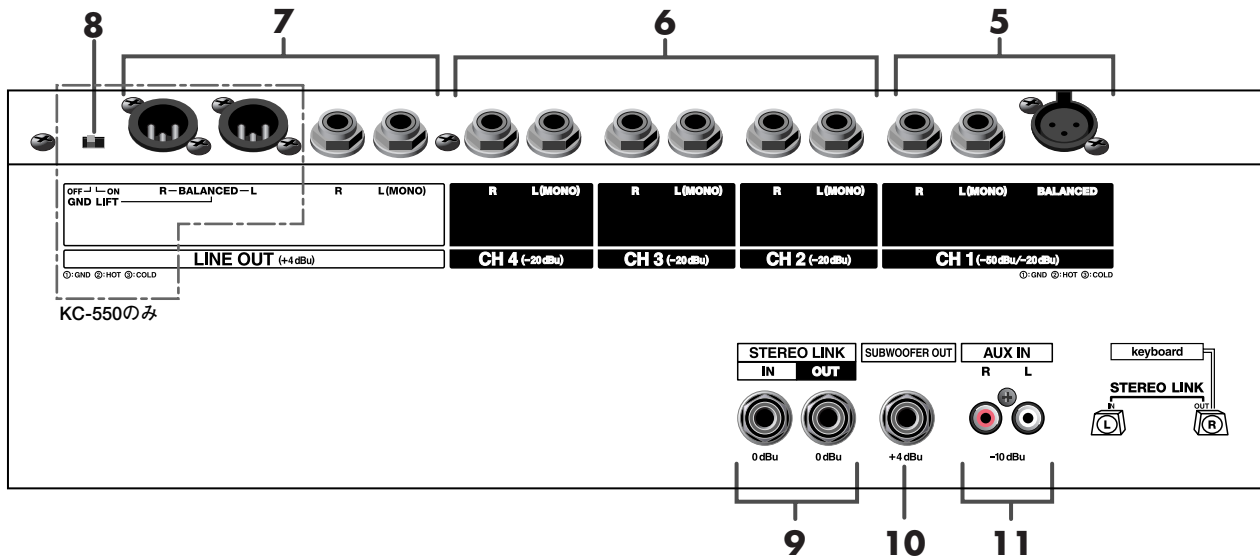
電源をオンにするとインジケーターが点灯します。

## **4. POWER スイッチ**

電源をオン／オフします。

- ※ 電源スイッチをオン／オフするときは、必ず **VOLUME** つまみを0にしてください。
- ※ この機器は、回路保護のため、電源オンにしてしばらくは、動作しません。
- ※ 他の機器を接続しているときの電源オン／オフの手順は、P.11をご覧ください。

## ジャック・パネル



### チャンネル・インプット

#### 5. CH 1 インプット・ジャック

標準ジャックと、マイク接続に便利なバランス対応の XLR コネクターを装備しています。

マイク、キーボード、サウンド・モジュールなどの機器を接続します。

入力レベルは、マイク (-50 dBu) からライン (-20 dBu) まで対応しています。

#### 6. CH 2、CH 3、CH 4 インプット・ジャック

キーボード、サウンド・モジュールなどの機器を接続します。

入力レベルはライン (-20dBu) に対応しています。

CH 4 は、入力した信号の出力先を選ぶことができます。(P.6)

### 7. ライン・アウト

#### LINE OUT ジャック (XLR タイプは KC-550 のみ)

ミキサーや MTRなどを接続します。KC-550 は、XLR タイプと標準タイプの 2 種類のジャックを装備しています。

標準タイプはアンバランス出力になっています。接続する機器に合わせてお使いください。

出力レベル +4dBu の出力端子です。

モノで接続する場合は、標準ジャック L (MONO) に接続してください。

※ MASTER CONTROL (イコライザー、SHAPE スイッチ、VOLUME つまみ) は、LINE OUT には働きません。

### 8. GND LIFT スイッチ (KC-550 のみ)

LINE OUT XLR のグラウンド接続する/しないを切り替えます。

LINE OUT XLR の使用時、グラウンド・ループなどによるノイズが発生した場合は、スイッチを切り替えます。

### 9. ステレオ・リンク

2 台の KC-550 または、KC-350 を 1 本のオーディオ・ケーブル (標準タイプ) で接続することにより、簡単にステレオ再生が可能になります。

※ ステレオ・リンクの詳細については、「ステレオ・リンクについて」(P.12) をご覧ください。

#### STEREO LINK OUT ジャック

ステレオ・リンクで演奏する場合に、サブ (L) 側の STEREO LINK IN ジャックと接続します。

出力レベル 0dBu の出力端子です。

STEREO LINK OUT ジャックに接続した時は、スピーカーから R 信号のみが出力され、STEREO LINK OUT ジャックから L 信号のみが出力されます。

#### STEREO LINK IN ジャック

ステレオ・リンクで演奏する場合に、メイン (R) 側の STEREO LINK OUT ジャックと接続します。

入力レベルは 0dBu に対応しています。

スピーカーからは STEREO LINK IN ジャックに入力された信号のみが出力されます。



---

## **10. SUBWOOFER OUT ジャック**

パワー・サブウーファーを接続することにより、さらに迫力ある低音再生ができます。

出力レベル +4dBu、フルレンジで出力します。

**MASTER CONTROL**（**LOW** つまみ、**MIDDLE** つまみ、**HIGH** つまみ、**VOLUME** つまみ）により音質や音量の調節ができます。

※ **SHAPE** スイッチは、**SUBWOOFER OUT** には働きません。

## **11. AUX IN ジャック**

RCA ピン・タイプの入力端子です。

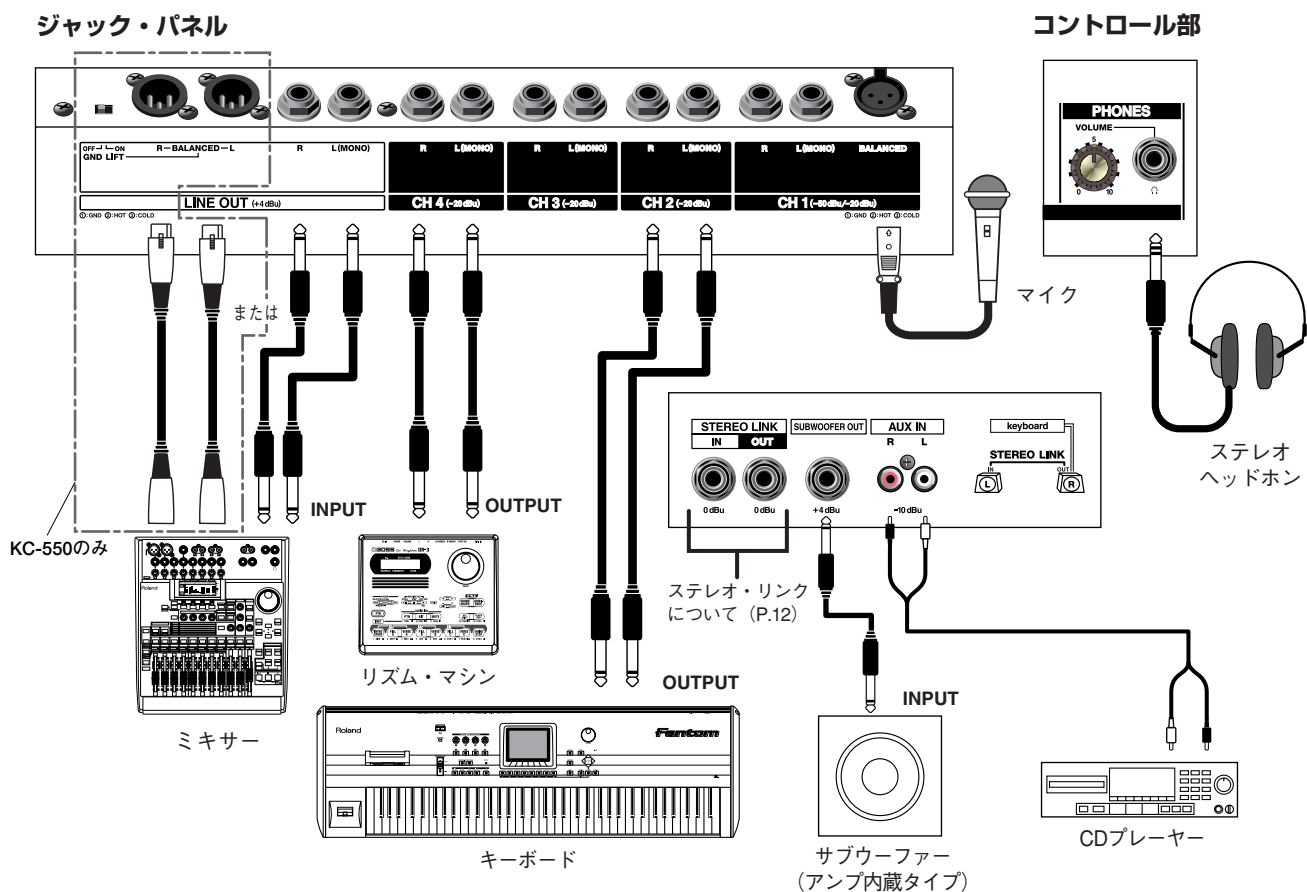
CD プレーヤー、MD プレーヤーなどの機器を接続し、**CH 1** ~ **CH 4** に入力した機器と同時に鳴らすことができます。

入力レベルは -10dBu に対応しています。

※ **AUX IN** ジャックに入力した機器の音量調節は接続機器側で行ってください。

# 接続のしかた

以下の図を参考に KC-550/KC-350 とその他の機器を接続します。



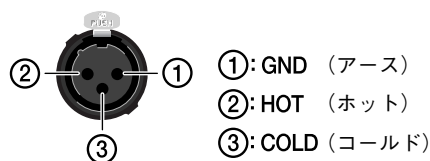
KC-550/KC-350 のミキサー機能とモニター機能を駆使した接続例です。

マイクは、マイク入力レベル対応の **CH 1** に入力します。キーボードやレコーダーなどの音源機器は、**CH 2**、**CH 3**、**CH 4** に入力します。

KC-550 のライン・アウトは、XLR タイプと標準タイプを装備しています。これらは同時に使用できます。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。KC-550/KC-350 の各チャンネルの (**CH 1**、**CH 2**、**CH 3**、**CH 4**) つまみおよび **VOLUME** つまみを 0 にしてください。

※ XLR コネクターのピン配置は次のようになっています。接続するときは、接続機器のピン配置を確認のうえ、接続してください。



※ 抵抗入りの接続ケーブルを使用すると、インプット (**CH 1 ~ CH 4**、**AUX IN**、**STEREO LINK IN**) に接続した機器の音量が小さくなる場合があります。このときは、抵抗の入っていない接続ケーブル (ローランド: PCS シリーズなど) をご使用ください。

※ マイクロホンとスピーカーの位置によっては、ハウリング音 (キーンという音) が出ることがあります。その場合は、以下のように対処してください。

1. マイクロホンの向きを変える
2. マイクロホンをスピーカーから遠ざける
3. 音量を下げる

## 電源を入れる／切る

正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

※ 電源を切るときは、各機器の音量を絞ってから、電源を入れるときと逆の手順で電源を切ります。

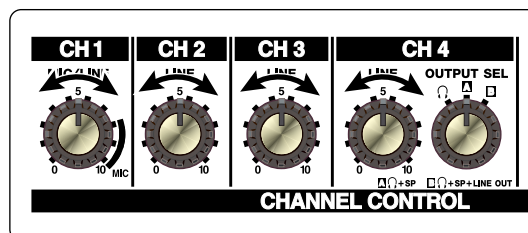
1. KC-550/KC-350 および各接続機器の音量つまみがすべて0になっていることを確認します。
2. KC-550/KC-350 のインプット (CH 1 ~ CH 4、AUX IN) に接続されている機器の電源を入れます。
3. KC-550/KC-350 の電源を入れます。
4. KC-550/KC-350 のLINE OUT ジャックやSUBWOOFER OUT ジャックに接続している機器があれば、機器の電源を入れます。
5. 各機器の音量を調節します。

※ この機器は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。また急に大音量が出ることを防ぐため、必ず音量を絞ってから電源をオンにしてください。電源をオンにするときにスピーカーから音がすることがありますが故障ではありません。

## 音量設定について

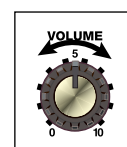
KC-550/KC-350 を最も良い音で演奏するために、音量設定を以下に行います。

1. CH 1 ~ CH 4 つまみを操作して、CH 1 ~ CH 4 の音量を調節します。



このとき、CH 1 ~ CH 4 の音量バランスを調節します。

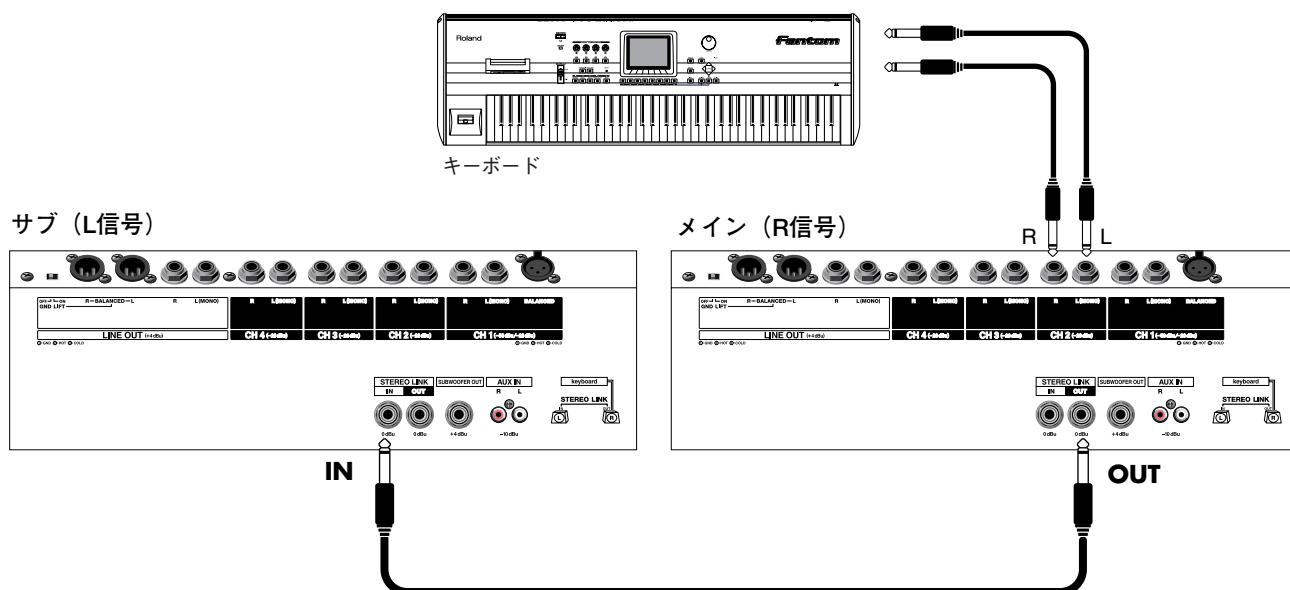
- ※ AUX IN ジャックに入力した機器の音量調節は、接続した機器側で行ってください。
2. LOW つまみ、MIDDLE つまみ、HIGH つまみを操作して、好みの音質に調節します。
  3. VOLUME つまみを操作して、全体の音量を調整します。



- ※ 歪んだ音がするときは、CH 1 ~ CH 4 つまみ、VOLUME つまみ、またはインプット (CH 1 ~ CH 4、AUX IN) に接続している機器の音量つまみを調整してください。

## ステレオ・リンクについて

2台のKC-550またはKC-350を1本のオーディオ・ケーブル（標準タイプ）で接続することにより、簡単にステレオ再生ができます。この機能を「ステレオ・リンク」と呼びます。チャンネル・コントロール部分がステレオ対応になっていますので、片側（メイン側）にまとめてステレオ入力ができ、音量調整をメイン側で行うことができます。メイン側のスピーカーからR信号を出力、サブ側のスピーカーからはL信号を出力します。



### 接続のしかた

ステレオ・リンクで使用する場合は、全ての周辺器機はメイン側に接続します。サブ側の、**STEREO LINK IN** 以外の入力端子には、接続しないでください。

※ 接続するときは、必ず両方のKC-550/KC-350の**VOLUME**つまみを0にしてから接続してください。

### 電源を入れる／切る

必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

1. CH 1～CH 4に接続している機器の電源を入れます。
2. メイン側のKC-550/KC-350の電源を入れます。
3. サブ側のKC-550/KC-350の電源を入れます。
4. **LINE OUT** や **SUBWOOFER OUT** に接続している機器の電源を入れます。
5. 各機器の音量を調節します。

電源を切るときは、各機器の音量を絞ってから、電源を入れるときと逆の手順で電源を切ります。

### 音量／音質調節のしかた

メイン（R）側とサブ（L）側の音量は、それぞれの**VOLUME**つまみで調節します。

※ イコライザー（**LOW**、**MIDDLE**、**HIGH**つまみ）、**SHAPE**スイッチも、メイン（R）側とサブ（L）側で個別に設定できます。基本は、同じ位置でお使いいただき、設置環境などで調整が必要なときは、それぞれ調整してください。

# キャスターの取り扱いについて (KC-550 のみ)

KC-550 は、運搬に便利なキャスターを付属しています。

## ■キャスターの脱着について

キャスターは、下図のように脱着できます。



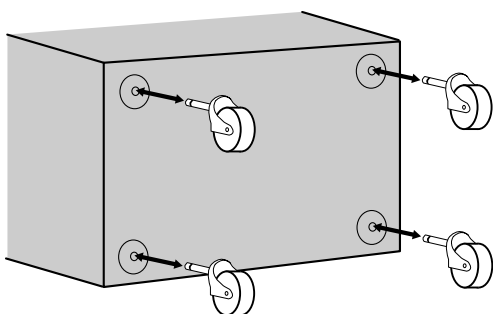
この機器を設置するときや車に積むときなど、動くと危険なときには、すべてのキャスターを外してください。



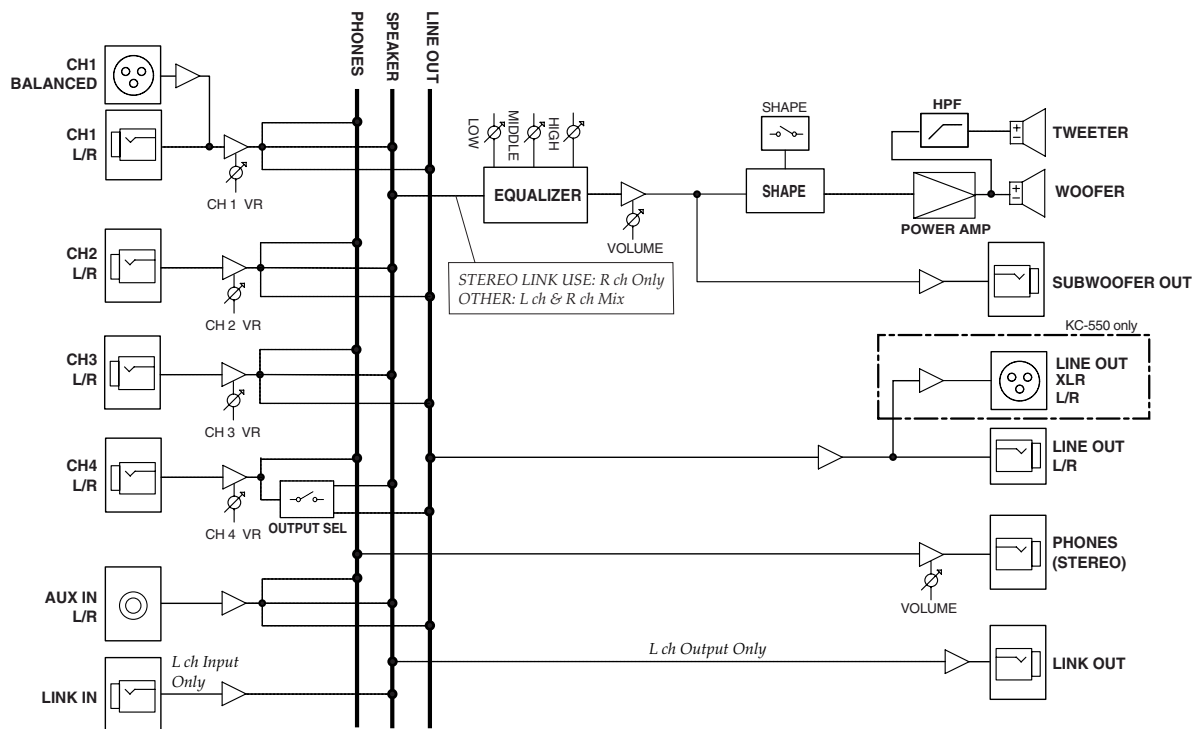
この機器は重いので、万一の転倒や落下によるケガなどの危険を防止するために、運搬時は必ず 2 人以上で運ぶようにしてください。



キャスターを取り付けた状態で使用するときには、必ず安定した水平な場所で使用してください。



## ブロック図



# 主な仕様

## KC-550 : ステレオ・ミキシング・キーボード・アンプ

### ●定格出力

180W

### ●規定入力レベル (1kHz)

CH 1 インプット (マイク/ライン)	-50 ~ -20dBu
CH 2 ~ 4 インプット (ライン)	-20dBu
ステレオ・リンク・インプット	0dBu
AUX IN	-10dBu

### ●規定出力レベル

ライン・アウト (XLR タイプ、標準タイプ)	+4dBu
ステレオ・リンク・アウトプット	0dBu
サブウーファー・アウト	+4dBu

※ 0dBu = 0.775Vrms

### ●スピーカー

38cm × 1、ツイーター × 1

### ●コントロール

チャンネル・コントロール

CH 1

ボリュームつまみ

CH 2

ボリュームつまみ

CH 3

ボリュームつまみ

CH 4

ボリュームつまみ

アウトプット・セレクト・スイッチ

ヘッドホン・ボリュームつまみ

マスター・コントロール

イコライザー

ローつまみ

ミドルつまみ

ハイつまみ

シェイプ・スイッチ

ボリュームつまみ

電源スイッチ

グラウンド・リフト・スイッチ

### ●インジケータ

パワー

### ●接続端子

CH 1 インプット・ジャック (XLR タイプ)

CH 1 ~ 4 インプット・ジャック L (MONO) (標準タイプ)

CH 1 ~ 4 インプット・ジャック R (標準タイプ)

ライン・アウト・ジャック L (MONO) (標準タイプ、XLR タイプ)

ライン・アウト・ジャック R (標準タイプ、XLR タイプ)

AUX IN ジャック (RCA ピン・タイプ)

サブウーファー・アウト・ジャック (標準タイプ)

ステレオ・リンク・アウト・ジャック (標準タイプ)

ステレオ・リンク・イン・ジャック (標準タイプ)

ヘッドホン・ジャック (ステレオ標準タイプ)

### ●電源

AC100V (50/60Hz)

### ●消費電力

135W

### ●外形寸法

590 (幅) × 445 (奥行) × 590 (高さ) mm (キャスター含む)

590 (幅) × 445 (奥行) × 536 (高さ) mm (キャスター含まず)

### ●質量

34.0kg

### ●付属品

取扱説明書

保証書

ローランド ユーザー登録カード

キャスター (× 4)

※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## KC-350 : ステレオ・ミキシング・キーボード・アンプ

### ●定格出力

120W

### ●規定入力レベル (1kHz)

CH 1 インプット (マイク/ライン)	-50 ~ -20dBu
CH 2 ~ 4 インプット (ライン)	-20dBu
ステレオ・リンク・インプット	0dBu
AUX IN	-10dBu

### ●規定出力レベル

ライン・アウト (XLR タイプ、標準タイプ)	+4dBu
ステレオ・リンク・アウトプット	0dBu
サブウーファー・アウト	+4dBu

※ 0dBu = 0.775Vrms

### ●スピーカー

30cm × 1、ツイーター × 1

### ●コントロール

チャンネル・コントロール

CH 1

ボリュームつまみ

CH 2

ボリュームつまみ

CH 3

ボリュームつまみ

CH 4

ボリュームつまみ

アウトプット・セレクト・スイッチ

ヘッドホン・ボリュームつまみ

マスター・コントロール

イコライザー

ローつまみ

ミドルつまみ

ハイツまみ

シェイプ・スイッチ

ボリュームつまみ

電源スイッチ

### ●インジケーター

パワー

### ●接続端子

CH 1 インプット・ジャック (XLR タイプ)

CH 1 ~ 4 インプット・ジャック L (MONO) (標準タイプ)

CH 1 ~ 4 インプット・ジャック R (標準タイプ)

ライン・アウト・ジャック L (MONO) (標準タイプ)

ライン・アウト・ジャック R (標準タイプ)

AUX IN ジャック (RCA ピン・タイプ)

サブウーファー・アウト・ジャック (標準タイプ)

ステレオ・リンク・アウト・ジャック (標準タイプ)

ステレオ・リンク・イン・ジャック (標準タイプ)

ヘッドホン・ジャック (ステレオ標準タイプ)

### ●電源

AC100V (50/60Hz)

### ●消費電力

100W

### ●外形寸法

490 (幅) × 385 (奥行) × 470 (高さ) mm

### ●質量

24.5kg

### ●付属品

取扱説明書

保証書

ローランドユーザー登録カード

※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## お問い合わせの窓口

---

- 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～土曜日 10:00～17:30（年末年始を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

- 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ <http://www.roland.co.jp/>

’07. 10. 01 現在 (Roland)

---

